

**日本経営工学会中部支部 ニュースレター
(第3回)2013年1月号**

1. 第2回工場見学会のご案内

経営工学中部研究会との共催で、A V E X (株) の企業見学会を下記の通り実施いたします。

日 時：平成 25 年 3 月 8 日(金) 14:00～16:30

見学場所：A V E X (株) 多度工場 (〒511-0117 三重県桑名市多度町下野代字谷 3503-30)

当日緊急連絡先：A V E X (株) 本社工場 TEL 052-811-1171 営業グループ 周 凱 (シュウ ガイ)

※本見学会に関するA V E X (株) 様へのお問い合わせは、ご遠慮ください。

概 要：円高、BRIC s 始め新興国の台頭、若年労働力の不足などグローバル競争環境は激化しています。こうした課題に対して、海外人材への技術移転のための工場活動、そこからの新たな日本の加工方法の構築、さらには海外メーカ市場の開拓のための工場革新など、独自の解決策を展開する同社の試みを工場見学を通じて学んでいきます。

プログラム：14:00～14:30 「会社概要」、講演「原価低減についての取り組み」

14:30～16:00 工場見学

16:10～16:30 質疑応答 (代表取締役社長 加藤丈典氏)、記念写真撮影

募集人員：15 名程度 (先着順) ただし、参加者多数の場合ならびに同業関連他社様等につきましては、一部制限することがあります。なお「参加可否」につきましては、申込み締め切り後、翌週末までにご連絡さしあげますのでお待ちをおねがいたします。

参加費：学会員および経営工学中部研究会会員は無料、学生も無料。一般は 6,000 円。

集合場所：13:30 までに近鉄桑名駅・近鉄口 (西口：住宅街側、J R 桑名駅側と反対側)。

交通：タクシー・・・近鉄名古屋本線・桑名駅近鉄口ロータリーに 13:15～13:30 集合 (相乗りにて、順次見学先に移動。タクシー代は参加費・会員無料に含まれます。)

自動車・・・A V E X 多度工場内 駐車場

申込方法：勤務先・大学名 (学生は年次)、御名前 (ふりがな)、参加交通手段 (タクシーまたは自家用車) を明記のうえ、E-mail か FAX (発信元銘記) にて下記へお申込み下さい。タクシー予約等の事前手配、申し込み後の参加交通手段の変更等のご遠慮下さい。

申込先：名古屋工業大学大学院工学研究科 竹野研究室

〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区御器所町 つくり領域気付

E-mail : takeno.tadahiro@nitech.ac.jp FAX : 052-735-5460 (発信元番号必銘記)

申込締切日：平成 25 年 2 月 22 日 (金) 午後 5 時まで

▼ AVEX 多度工場⇒<http://www.avex-inc.co.jp/01profile/07map/map.html>



2. 中部支部研究発表会・支部講演会・懇親会のご案内

経営工学中部研究会との共催で、中部研究発表会等下記の通り実施いたします。

中部支部研究発表会

開催日：平成 25 年 2 月 28 日（木）10:30～16:20（予定）

場所：愛知工業大学経営学部 自由ヶ丘キャンパス（地下鉄名城線「自由が丘」駅下車すぐ）

【発表申し込み等については下記の通りです。詳しくは、12 月 19 日送信のメールをご参照下さい】

発表資格：JIMA 会員、経営工学中部研究会会員、大学院生、大学 4 年生（学生は非会員でも可）

発表申込締切日：2 月 1 日（金） 原稿提出締切日：2 月 18 日（月）

（提出原稿について）・JIMA 大会予稿集原稿執筆要項（A4）に従うこととする。

- ・ページ数は 2 ページ～4 ページまで。
- ・ファイル形式は、Word、一太郎、PDF のみ。

申し込み等の方法：次のアドレスに、E-mail にて申し込み及び原稿の提出を行って下さい。

tamuratak@aitech.ac.jp（愛知工業大学 田村隆善）

支部講演会

開催日：平成 25 年 2 月 28 日（木）研究発表会終了後 1 時間（16:30 開始予定）

場所：愛知工業大学経営学部 自由ヶ丘キャンパス（地下鉄名城線「自由が丘」駅下車すぐ）

講師：原田 武夫 氏（株式会社 原田武夫国際戦略情報研究所）

演題：「金融資本主義と日本のものづくり：なぜ窮地に立たされているのか？」

概要：続々と「格下げ」「買収」されていく我が国を代表するものづくり系企業。その流れは止まることを知らず、むしろ加速すらしている感があります。なぜ今、我が国ものづくりは窮地に立たされているのでしょうか？その根源的な要因として企業戦略におけるグローバル・マクロ（国際的な資金循環）の把握不足があります。それではどうすれば良いのか？この講演ではグローバル人財研修を全国各地で行ってきた経験に基づきいくつかの事例を紹介しながら、我が国に居ながらにして出来る公開情報分析（OSINT）に基づくグローバル・マクロ把握の手法をベースに、国際社会における「今」と「これから」の潮流を説明します。従来の MOT（Management of Technology）を超えた、理系・技術系の立場だからこそ知っておきたい攻めのための技術（情報リテラシー）を紹介します。

研究発表会、支部講演会終了後、簡単な懇親会（参加申し込み不要、会員・上記発表会参加学生は参加費無料）を開催致しますので、ご参加ください。

3. 第 1 回工場見学会および課題別研究会の報告

下記日程で第 1 回工場見学会および課題別研究会が実施されました。

工場見学会

日時：平成 24 年 9 月 14 日（金）14:30～16:00

場所：（株）デンソー大安製作所 参加者：27 名（うち学生 3 名）

内容：大安製作所内の排気センサの組み立てラインを見学し、納入物流の多回引きの全面展開、つくり前工程のワンストップ活動、つくり後工程の外観検査村、構内物流の「楽するカー？」などの改善事例の説明を受けました。

課題別研究会

日時：平成 24 年 9 月 14 日（金）14:00～14:30

会場：（株）デンソー大安製作所 会議室 参加者：21 名（うち学生 3 名）

講師：高木 和彦 氏（セラミック工場長）

テーマ：標準作業にこだわった EF 活動の再生

内容：「標準作業に基づく改善」、「スルーで見た改善」、「生まれの良いラインづくり」、「改善に強い人づくり」の4視点から実践されている EF 活動の説明を受け、具体的な標準作業票の作成・活用方法、EF タイムや部内自主研の運用方法などについて活発な議論がなされました。

4. 第3回運営委員会の報告

下記日程で第3回運営委員会が開催されました。

日時：平成24年12月6日（木）18:15～20:00

場所：東海学園大学サテライトキャンパス

出席：10名（運営委員会は支部長1、副支部長2、運営委員12の計15名で構成）

内容：1) 支部委員会（11月17日開催）報告

- ・基本的に従来行ってきた支部活動を継続することができる。
- ・しかしながら、組織としての支部は許可されない（存在しない）、予算は支部ではなく事業に対して配分される。
- ・「支部」から「地区」への呼称変更が検討されている。

2) 役員選挙の立候補者について

- ・理事に中出先生、代議員に越島先生、後藤先生、長谷川様、伊藤（久）先生が立候補することが報告された。

3) 支部研究発表会&支部講演会、第2回工場見学会について

- ・上記案内の通り決定された。

4) 平成25年度事業計画について

- ・基本的に今年度と同様の事業を行うよう作成された計画案が了承された。

5) 平成25年度支部体制について

- ・本部に推薦する支部長候補を越島先生（名古屋工業大学）とし、副支部長は後藤先生（愛知工業大学）と内藤様（トヨタ自動車株）にお願いすることとした。

中部支部へのご意見・ご要望がありましたら気軽に中部支部事務局宛に FAX でお知らせ下さい。

支部長宛には電子メール（ito-h@tokaigakuen-u.ac.jp）でお願いします。

公益社団法人 日本経営工学会中部支部・支部長 伊藤久司(東海学園大学) 事務局：〒456-0058 名古屋市熱田区六番二丁目2番1号 株式会社 名古屋化学工業所 内 電話：052-652-5631（代） FAX：052-652-5632
